

みんなで
チェック



四日市市の財政



平成28年度の決算が平成29年8月定例月議会で市議会に認定されました。
 決算とは、「1年間の収入と支出」を示すもので、市の家計簿のようなものです。決算を見ることで、市民の皆さんに納めていただいた税金がどのように使われたのかを知ることができます。
 今回の特集では、平成28年度の決算を踏まえ、市民の皆さんの生活を支える行政サービスの礎となる市の財政についてお知らせします。

一般会計 **歳入** 1,102億円 - **歳出** 1,076億円 - **翌年度へ** 10億円繰越 = **実質収支額** 16億円の黒字

歳入(もらったお金)

+ △ 内は前年度比

前年度比 △114億円 △9.4%

〈主な増減〉

- 市税収入………+14億円 +2.2%
…固定資産税や個人市民税の増など
- 市債………△51億円 △57.8%
…四日市市クリーンセンターの整備が平成27年度に終了したことによる減など
- 国・県支出金………△43億円 △16.7%
…四日市市クリーンセンターの整備が平成27年度に終了したことによる減など
- 地方交付税………△11億円 △45.7%
…不交付団体になったことによる減



事業所税

事業所税の主な充当先

人口30万人以上の都市で、一定規模を超える事業を営む事業主から納めていただく税金(決算額31億円)

産業・生活道路などの整備に	14億円
保育園、幼稚園、小・中学校の改修工事などに	14億円



改築した笹川中学校

特別会計

特定の事業を行うために、一般会計と区別して運営する会計

全ての項目で黒字だね

※数値は四捨五入のため、合計が合わない場合があります

項目	歳入(A)	歳出(B)	実質収支(A-B)
競輪事業	169億 628万円	158億4,440万円	10億6,188万円
国民健康保険	347億6,466万円	328億5,222万円	19億1,244万円
食肉センター食肉市場	6億7,628万円	6億5,210万円	2,418万円
土地区画整理事業	3億5,987万円	3億4,458万円	1,529万円
住宅新築資金等貸付事業	4,197万円	906万円	3,291万円
農業集落排水事業	3億4,164万円	3億2,167万円	1,997万円
介護保険	233億2,696万円	210億9,520万円	22億3,176万円
後期高齢者医療	58億1,210万円	57億9,261万円	1,949万円
三鈴鈴農農業共済事務組合清算	4億4,410万円	0円	4億4,410万円
桜財産区	4,266万円	216万円	4,050万円
合計	827億1,653万円	769億1,401万円	58億252万円

一般会計



市民1人当たりだと、いくらぐらいになるの?

収入		支出	
項目	決算額	項目	決算額
市税	205,086円	福祉サービスの提供など	128,355円
借金(市債)	11,990円	道路・市街地・交通の整備など	51,350円
国や県からの収入(国・県支出金) ※使い道の指定あり	68,879円	防災対策、文化振興など	43,388円
国からの収入(地方交付税、 地方譲与税・交付金)※使い道の指定なし	28,150円	教育の充実	32,564円
使用料・手数料、その他の収入	39,573円	借金(市債)の返済	30,095円
合計	353,678円	ごみ処理や保健・医療、環境対策など	28,569円
		その他(消防、地域経済の振興など)	31,043円
		合計	345,364円

※一般会計の決算額を、市の人口(平成29年4月1日現在 311,672人)で割って計算

歳出(使ったお金)

+ △ 内は前年度比

前年度比 △110億円 △9.3%

〈主な増減〉

- 民生費………+24億円 +6.4%
…臨時福祉給付金、旧東橋北小学校整備事業費あけぼの学園移転整備事業費の増など
- 総務費………△13億円 △8.6%
…財政調整基金積立金の減など
- 教育費………+15億円 +16.9%
…笹川中学校の改築や中央緑地運動施設の整備(国体関係)に伴う増など
- 衛生費………△120億円 △57.5%
…四日市市クリーンセンターの整備が平成27年度に終了したことによる減など

性質別内訳

義務的経費 507億円 (47.1%)		補助費等 157億円 (14.6%)	物件費 152億円 (14.1%)	投資的経費 117億円 (10.9%)	その他 143億円 (13.3%)
扶助費 247億円 (23.0%)	人件費 166億円 (15.4%)	公債費 94億円 (8.7%)			



公営企業会計

住民の福祉の増進を目的として、主に料金収入によって経営される会計



市立四日市病院事業

年間延べ約16万人の入院患者と延べ約41万人の外来患者を受け入れました。高精度放射線治療装置などの機器整備や、院外南駐車場のアスファルト舗装への改修工事などの施設整備を行いました。

収益	208億円	4億円の黒字
費用	204億円	



水道事業

給水戸数は前年度と比べて約1,800戸増加し、全体で約14万8千戸になりました。高度浄水処理施設整備や取水井(井戸)の更新のほか、基幹施設の耐震化、経年施設の更新などを行いました。

収益	76億円	14億円の黒字
費用	62億円	



下水道事業

処理区域内戸数は前年度に比べて約1,800戸増加し、全体で約10万5千戸になりました。汚水管を延長する汚水整備工事や、日永浄化センターの設備更新、ポンプ場の建築工事などを行いました。

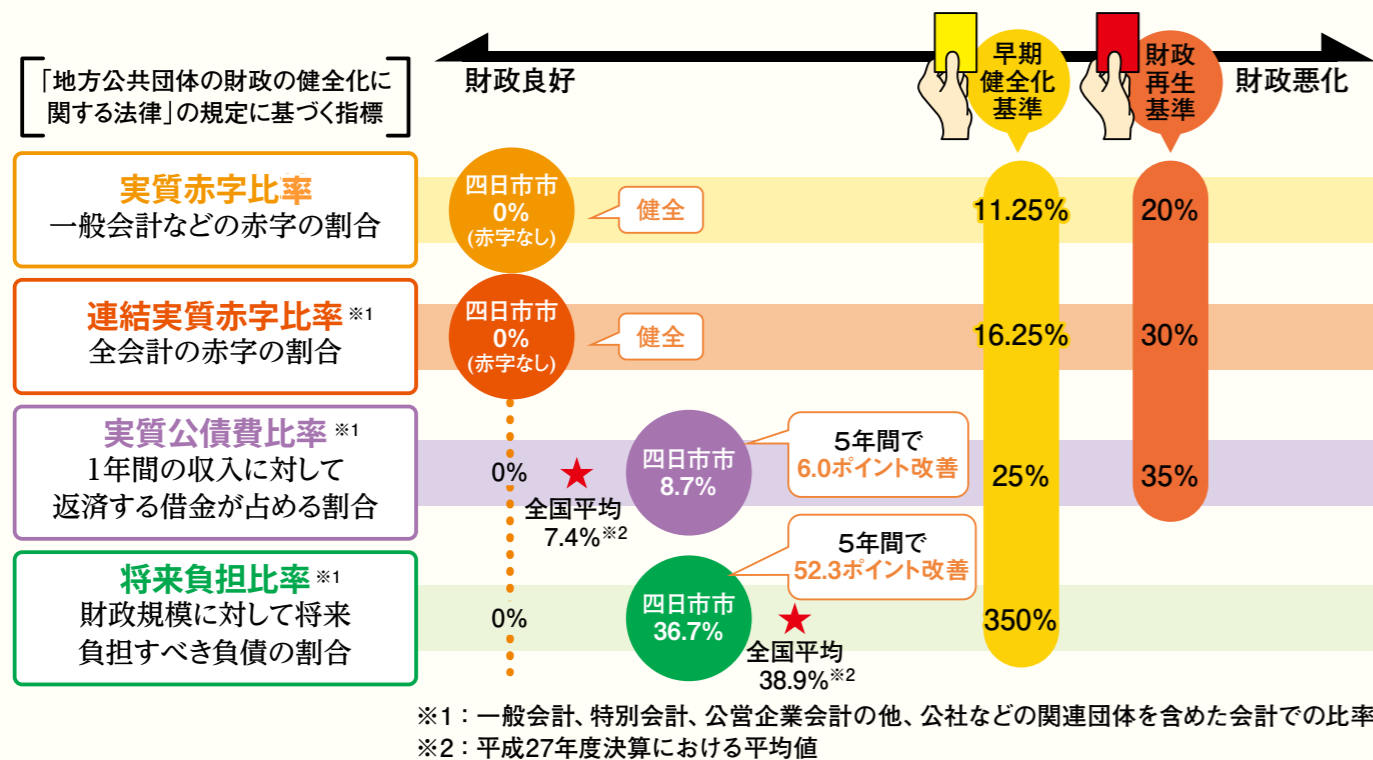
収益	148億円	16億円の黒字
費用	132億円	



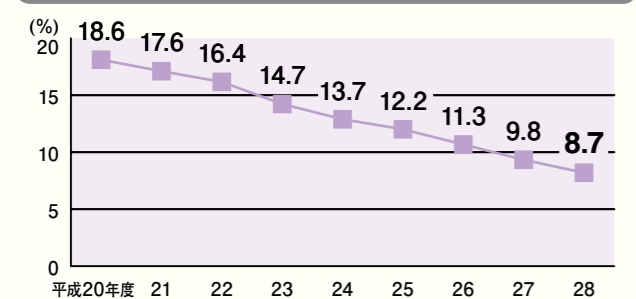
財政状況は健全なの？

財政状況を判断する基準の一つとして、地方自治体の財政破たんを未然に防ぐために国が定めた「健全化判断比率」という四つの指標があります。

平成28年度決算を基に本市の健全化判断比率を算出すると、いずれの指標も昨年度の数値から改善しており、早期健全化団体や財政再生団体となる基準を下回っています。



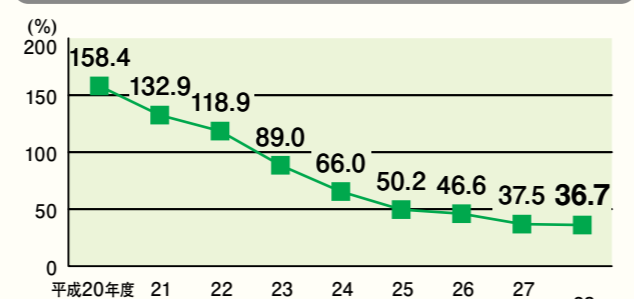
実質公債費比率の推移



この比率が高いほど、1年間の収入に対する借入金の返済額の割合が大きくなり、財政の弾力性が乏しい(社会経済や行政需要の変化に適切に対応していくゆとりがない)ということになります。

本市では、新たな市債発行(借金)の抑制に努めた結果、毎年この比率は改善してきています。しかし、平成27年度の全国平均7.4%と比較すると未だに高い数値であるため、今後も引き続き改善に取り組みます。

将来負担比率の推移



この比率が高いほど、財政規模に比べて将来負担すべき支出が大きくなり、今後、財政を圧迫する可能性が高くなります。

本市の比率36.7%は健全な数値であり、平成27年度の全国平均38.9%も下回っています。過去10年ほどで大幅に改善が進んでおり、平成28年度決算においてもさらに数値が改善しました。

この他にも、民間企業の手法を用いた財務諸表など、さまざまな角度から財政状況を分析しています。詳しくは、市ホームページ(HP ID 1001000003457)をご覧ください。

行財政改革プラン2014(平成26~28年度)の取り組み結果

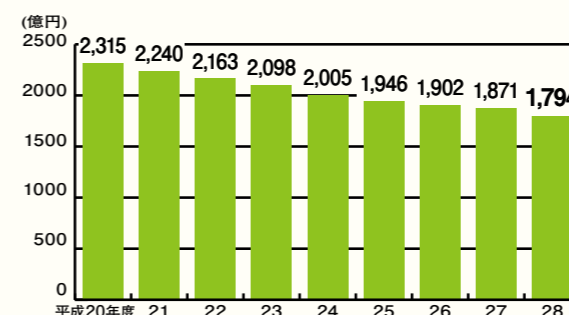
指標1	実質収支比率3~5%の水準を保つ	平成28年度2.3% (平成26年度3.1%、平成27年度3.7%)
指標2	実質公債費比率9.2%以下とする	平成28年度末で8.7% 達成
指標3	将来負担比率60.0%以下とする	平成28年度末で36.7% 達成
指標4	財政調整基金+減債基金=100億円を確保	平成28年度末で106億円 達成



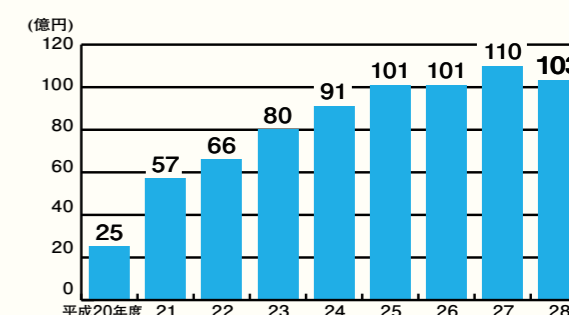
借金・貯金はどれくらいあるの？

市債発行額の抑制に努めた結果、借金(全会計の市債残高の合計)は1,794億円となり、前年度と比べて77億円減少しました。また、災害などの不測の事態や景気変動による減収に備えるため、貯金(財政調整基金)の確保に努めており、平成28年度においては、年度末残高で103億円確保しました。

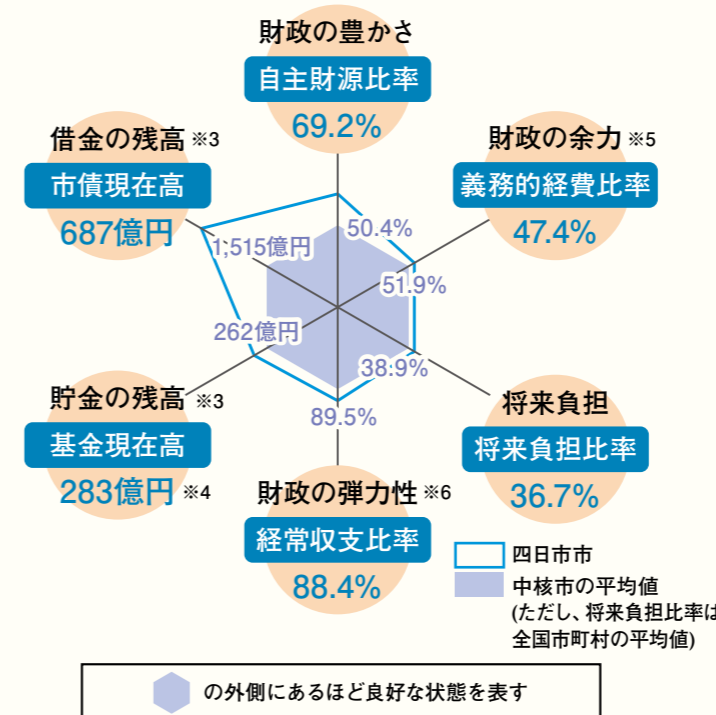
市の借金(全会計市債残高)の推移



市の貯金(財政調整基金)の推移



他都市と比べるとどうなの？



歳入に関しては、市税などの自主財源比率が他団体と比べて高い水準にあり、国・県からの補助金や市債などの依存財源に頼らない、自主性の高い構造となっています。

歳出に関しては、他団体と比べて財政の弾力性が高く、将来負担比率も低い、健全な状態と言えます。また、貯金の残高(基金現在高)や借金の残高(市債現在高)も他団体と比較して良好な数字となっています。

この他にも、民間企業の手法を用いた財務諸表など、さまざまな角度から財政状況を分析しています。詳しくは、市ホームページ(HP ID 1001000003457)をご覧ください。



平成28年度はどんなことをしたの？

本市は、今後10年間のまちづくりの方向性を定める「四日市市総合計画(平成23～32年度)」に基づき、「安心、元気・魅力、絆のあるまち」を目指して、さまざまな取り組みを進めています。そして、総合計画に定める五つの基本目標に応じて、3カ年の実施計画「推進計画」(第2次推進計画は平成26～28年度)を策定し、重点的に財源を配分することで、効果的に事業を推進してきました。平成29年度からは、総合計画の最終となる第3次推進計画を策定し、事業を行っています。

ここでは、平成28年度に実施した推進計画事業のうち、決算額の大きい上位5事業を紹介します。



基本目標 1 「都市と環境が調和するまち」を目指して

決算額 52億円

平成28年度決算額(額が大きい順)

1	公共下水道事業(汚水)	25億1,970万円
2	水道整備事業	20億8,489万円
3	拠点駅周辺整備事業【連続立体交差事業】	9,814万円
4	拠点駅周辺整備事業【近鉄四日市駅交通拠点化事業等】	7,600万円
5	合併浄化槽整備促進事業	6,072万円

公共下水道事業(汚水) 25億1,970万円

日永浄化センターの設備更新や下水管の延伸、下水管や施設の更新・耐震化などを進めました。



下水管の延伸工事

基本目標 2 「いきいきと働ける集いと交流のあるまち」を目指して

決算額 7億円

平成28年度決算額(額が大きい順)

1	企業立地奨励金交付事業	4億5,798万円
2	民間研究所立地奨励金交付事業	7,566万円
3	茶業振興拠点整備事業	5,864万円
4	観光・シティプロモーション事業(全国工場夜景サミットなど)	2,650万円
5	観光施設整備事業(四日市スポーツランド整備に対する補助金など)	1,935万円

茶業振興拠点整備事業 5,864万円

茶業振興センターを移転するため、建築実施設計や造成工事などを行いました。平成30年4月オープンに向けて準備を進めています。



建設中の茶業振興センター(平成29年10月現在)

ちゃんねる 連動



今回の特集の内容は、市政情報等提供番組「ちゃんねるよっかいち」[地デジ12ch(CTY)]でも紹介します。

●12月21日(木)～31日(日)に放送
月・水・金・日曜日 9:30、20:30
火・木・土曜日 12:30、20:30

基本目標 3 「誰もが自由に移動しやすい安全に暮らせるまち」を目指して

決算額 59億円

平成28年度決算額(額が大きい順)

1	総合治水対策推進事業【公共下水道事業(雨水)】	15億2,661万円
2	橋北交流会館整備事業	8億8,362万円
3	道路橋梁整備事業【主要道路リフレッシュ等】	8億4,754万円
4	公共施設アセットマネジメント事業	6億1,146万円
5	新消防分署整備事業(南消防署南部分署の整備など)	4億7,581万円

橋北交流会館整備事業 8億8,362万円

旧東橋北小学校を改修し、運動施設(グラウンド、体育館)を含む複合施設を整備しました。

- 1・2階 橋北こども園
- 3階 橋北交流施設(貸館)・企業OB人材センター
- 4階 こども子育て交流プラザ



橋北交流会館

基本目標 4 「市民が支えあい健康で自分らしく暮らせるまち」を目指して

決算額 36億円

平成28年度決算額(額が大きい順)

1	高精度放射線治療棟整備事業	10億9,226万円
2	子育て関係医療費助成事業(中学生までの子どもにかかる医療費の全額助成など)	9億6,202万円
3	学童保育推進事業	3億7,676万円
4	地域型保育事業	3億2,216万円
5	在宅介護支援センター運営事業	2億 348万円

高精度放射線治療棟整備事業 10億9,226万円

高度ながん治療を行うため、高精度放射線治療棟を整備し、新たに治療装置を導入しました。平成29年4月から供用を開始しています。



高精度放射線治療装置

基本目標 5 「心豊かな“よっかいち人”を育むまち」を目指して

決算額 34億円

平成28年度決算額(額が大きい順)

1	小・中学校 校舎改築事業	10億 303万円
2	三浜文化会館整備事業	6億1,943万円
3	小・中学校大規模改修事業	4億7,662万円
4	スポーツ施設整備事業(平成33年三重とこわか国体開催に向けた施設整備)	4億5,802万円
5	少人数学級拡充事業(小学1年生・中学1年生の30人学級の実施など)	2億3,647万円

三浜文化会館整備事業 6億1,943万円

旧三浜小学校を有効活用し、三浜文化会館を整備しました。市民の芸術文化活動における練習・発表の場や、生涯学習活動の場としての機能を持っています。



三浜文化会館(カルチャー三浜)

編集後記

決算と聞くと、専門用語も多く「とっつきにくいなあ」と感じる人も多いのではないのでしょうか。今回の特集は、具体例やかみ砕いた表現を使って、なるべく身近に感じていただけるように制作しました。少しでも興味を持っていただければ幸いです。(財政経営課 木本・鎌田、広報広聴課 久徳)

●この特集についてのお問い合わせ・ご意見は

財政経営課 ☎ 354-8130 FAX 359-0275
広報広聴課 ☎ 354-8244 FAX 354-3974